

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠第1回 草の根活動支援事業・災害支援事業

1. **日時**：2025年8月21日（木） 開会10：00－閉会13：00
2. **場所**：東京都千代田区内幸町2丁目2番3号日比谷国際ビル314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom

3. 審査委員（敬称略）

- ・石田 祐 関西学院大学 人間福祉学部 教授 〈議長〉
- ・米田 佐知子 子どもの未来サポートオフィス 代表
- ・山内 亮太 株式会社 ESCCA 代表取締役
- ・菅野 拓 大阪公立大学 大学院文学研究科 人間行動学専攻 准教授
- ・中嶋 弓子 任意団体 東京おでかけプロジェクト 代表
- ・審査事務局：JANPIA

4. 議題

2025年度通常枠 第1回草の根活動支援事業・災害支援事業の審査

5. 申請の状況

- （1）草の根活動支援事業：30団体 30事業
- （2）災害支援事業：6団体 6事業

6. 議事の前提

- ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
- ・ 審査は、草の根活動支援事業、災害支援事業の区分ごとに行った。
- ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
- ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。

7. 議事要旨

審査委員5名の出席により、石田審査委員が議長を務め、審査を行った。議事においては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。

なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・ 山内亮太
— 認定特定非営利活動法人カタリバの業務委託先である特定非営利活動法人エティック
- ・ 米田 佐知子
— 公益財団法人パブリックリソース財団
— 認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
- ・ 菅野 拓
— 一般社団法人こども女性ネット東海
— 特定非営利活動法人ひろしま NPO センターのコンソーシアム団体である
特定非営利活動法人岡山 NPO センター

災害支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 6 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 一般社団法人こども女性ネット東海
- 株式会社雨風太陽
- 公益財団法人地域創造基金さなぶり
- 一般社団法人ドローン減災士協会
- 一般社団法人災害対策トレーニングセンター支援会
- 一般財団法人中部圏地域創造ファンド

草の根活動支援事業

申請のあった事業について、審査を実施した審査委員全員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 6 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 公益財団法人みらいファンド沖縄
リンクワーカーの確保と事業の持続可能性に向けた計画の具体化を図るとともに、成果や知見を整理し広く発信することが期待される。
- 一般財団法人大阪府人権協会
アウトカムを踏まえた実行団体の選定と、事業の自立化や成果の横展開を見据えた推進が期待される。
- 公益社団法人ユニバーサル志縁センター
実行団体の理解促進を図るため、本プログラムの目的を十分に周知した上で公募を実施することが期待される。
- 一般社団法人全国フードバンク推進協議会
複数事業の実施状況を踏まえ、人員体制の充実を図り、円滑な事業推進に努めることが期待される。
- 更生保護法人日本更生保護協会
地域の社会資源を把握・活用できるよう、居住支援の専門家と連携した手厚い伴走支援の実施を期待する。
- 公益財団法人パブリックリソース財団
助成終了後の持続可能性を高めるための手厚い伴走支援と、当該領域における全国的な支援体制の構築を視野に事業を推進することが期待される。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 24 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 認定特定非営利活動法人育て上げネット
- 認定特定非営利活動法人富士山クラブ
- 認定特定非営利活動法人カタリバ
- 一般財団法人 HugLab
- 特定非営利活動法人わかやまエヌピーオーセンター
- 公益財団法人たかまつ讃岐てらす財団
- 公益財団法人日本国際交流センター
- 認定 NPO 法人北海道 NPO ファンド
- 一般社団法人東海若手起業塾実行委員会

- 特定非営利活動法人いわて連携復興センター
- 一般財団法人世田谷コミュニティ財団
- 一般社団法人わの会
- 一般財団法人ふくしま百年基金
- 陸前高田企画株式会社
- 特定非営利活動法人ひろしま NPO センター
- 一般社団法人徳島県就業支援機構
- 一般社団法人スポーツ・オブ・ハート
- 公益財団法人日本舞台芸術振興会
- 一般財団法人 town planning support group
- 特定非営利活動法人キッズドア
- 認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
- 特定非営利活動法人ムラのミライ

以上

資金分配団体 審査会議 議事概要

通常枠 ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業

1. **日時**：2025 年 8 月 22 日（金） 開会 10:00－閉会 13:00
2. **場所**：東京都千代田区内幸町 2 丁目 2 番 3 号日比谷国際ビル 314
JANPIA 事務所内 大会議室、Zoom
3. **審査委員（敬称略）**
 - ・永沢 映 特定非営利活動法人コミュニティビジネスサポートセンター 代表理事〈議長〉
 - ・町井 則雄 株式会社シンカ 代表取締役社長
 - ・山元 圭太 合同会社喜代七 代表
 - ・松川 倫子 TMatsu LLC 代表・CEO
 - ・山本 未生 一般社団法人 World In You 代表理事
 - ・審査事務局：JANPIA
4. **議題**

2025 年度通常枠 第 1 回ソーシャルビジネス形成支援事業・イノベーション企画支援事業の審査
5. **申請の状況**
 - （１） ソーシャルビジネス形成支援：18 団体 18 事業
 - （２） イノベーション企画支援：11 団体 11 事業
6. **議事の前提**
 - ・ 審査会議では、公募要領に定める「選定基準」とともに、「選定配慮事項・優先選定」に留意し審査を行った。
 - ・ 審査は、イノベーション企画支援事業、ソーシャルビジネス形成支援事業の区分ごとに行った。
 - ・ 審査委員は審査会議に先立ち、事務局から送付された「申請書類」に基づいて手元審査を行い、審査の過程で生じた疑問については、審査委員にて分担し、各選定申請団体のヒアリングを行った。
 - ・ 審査委員は手元審査・面談結果を受け、その結果を事業ごとにコメントとして整理し、審査会議に臨んだ。
7. **議事要旨**

審査委員 5 名の出席により、永沢審査委員が議長を務め、審査を行った。 議事におい

ては、各審査委員が事前に実施した手元審査の結果を踏まえたコメントを相互に確認しながら検討し、「JANPIA 理事会に対して、選定を推薦する事業」の選定を行った。
なお、審査委員へ選定申請団体名について事前に共有し、利益相反についての自己申告があった事業については、当該団体の審査には加わらなかった。

〈利益相反自己申告の状況〉

- ・山元 圭太
 - 一般社団法人ソーシャル・イノベーション・パートナーズ
 - 特定非営利活動法人エティック
- ・山本 未生
 - 特定非営利活動法人エティック

ソーシャルビジネス形成支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 18 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 一般社団法人 SINKa
- 一般社団法人十勝うらほろ樂舎
- 一般社団法人コミュニティネットワーク協会
- 特定非営利活動法人グリーンケア支援協会
- 株式会社トラストバンク
- 特定非営利活動法人こどもたちのこどもたちのこどもたちのために
- 一般社団法人 YOKOHAMA リビングラボサポートオフィス
- 特定非営利活動法人青少年自立援助センター
- 特定非営利活動法人困窮者支援ネットワーク
- グローカル株式会社
- 一般社団法人福岡デザインアクション
- 公益社団法人日本サードセクター経営者協会
- 一般財団法人ひだ財団
- 一般社団法人 GIZOKU
- 株式会社 WealthTechHoldings
- 株式会社和み
- 一般社団法人みらい観光デザイン機構
- イング総合計画株式会社

イノベーション企画支援事業

申請のあった事業について、各審査委員が推薦すべきとする意見が多いものから検討を行った。

(1) JANPIA 理事会に対し推薦する事業：以下の 4 事業

以下の事業については、推薦すべきとの意見であったが、一部の委員からの指摘事項があり、改善に向けた期待事項を付す等により、推薦することとした。

- 公益社団法人子どもの発達科学研究所
柔軟な伴走支援と成果の検証を通じて、不登校支援の新たなモデル構築につなげることが期待される。
- 特定非営利活動法人エティック
イノベーション要素を明確化し、起業家育成にとどまらない地域社会への効果を成果として示していくことが期待される。
- 一般社団法人全国食支援活動協力会
コーディネーター人材の確保・育成と事業の持続性確保を図るとともに、AI 等を活用した革新的な成果の創出が期待される。
- 一般社団法人ソーシャル・イノベーション・パートナーズ
人材の確保・育成と支援体制の構築を進め、革新的な取組を牽引することが期待される。

(2) 推薦を見送ることとなった事業：以下の 7 事業

以下の事業については、「選定基準」等に照らし、審査委員会としての推薦を見送ることとなった。

- 公益財団法人地方経済総合研究所
- 株式会社 UMITO Partners
- 一般社団法人 JP-MIRAI
- 一般社団法人中小企業個人情報セキュリティ推進協会
- Visual Marketing 株式会社
- 一般社団法人福岡デザインアクション
- 株式会社ワールド・ビジネス・アソシエイツ

以上